

にしながお小学校だより

050-7102-9176 (平日のみ 電話受付: 8 時 30 分～17 時)



8 月は戦争を知り平和について考え、
夏 休 み を 楽 し む 月

10 号 / 令和 8 年 8 月 15 日 / 児童数 336 名

教育理念

学校教育目標

めざす子ども像

研究テーマ

いのちを まもり いのちを はぐくみ いのちをつなぐ

ともに学び合い、自ら考え行動し、思いやりをもって、仲間とより良い授業を創造し続ける子どもの育成

1. 心豊かな子ども (自他を大切にする、思いやりのある子ども)

2. 深く考える子ども (自ら学び、考えて行動できる子ども)

3. 健康で明るい子ども (きまりや約束を守りよく遊び、困難なことも最後までやり抜くための体力・気力をもった子ども)

読むって楽しい! 伝えるっておもしろい! ~説明文から広がる学びの力~

西長尾 7 つの力を礎に「自制心・忍耐力・向上心・自尊心・協調・受容・共感・相互理解」

終戦記念日について語り考え行動できる人に

今日の日経新聞の 1 面の右下に政府広報として厚生労働省が「8 月 15 日は戦没者を追悼し平和を祈念する日です。(途中略) 皆様には、職場やご家庭などで正午から 1 分間の黙とうをお願いします。」と掲出していました。

8 月 14 日は、京橋駅空襲被災者慰霊祭がありました。これはよく利用している京橋駅で終戦前日に爆弾が落ち利用者から多数の死者が出たことを慰霊するものです。昨日の京橋駅は、家族連れで賑わう京橋駅でしたし、一方、校内すぐ横では第 72 回慰霊祭が執り行われていました。両方を体験しながら平和について改めて考えさせられ、今できることを学校で子ども達と一生懸命頑張る決意をしました。

さて、当時広島、長崎への原子爆弾投下から終戦までの各地に目を向けてみると、数々の空襲があったことが分かります。広島、長崎での当時の被害状況の把握もままならない中、地方でもたくさんの被害があったことでしょう。以下に空襲の一部を抜粋しました。

8/6: 広島への原子爆弾投下/兵庫県西宮市、鳴尾村、芦屋市/愛媛県今治市、 /7: 愛知県豊川市、 /8: 広島県福山市、 /9: 長崎への原子爆弾投下/青森、 /10: 岩手県花巻市、 /13: 東京都、埼玉県、千葉県など一円/山口県岩国市、 /14: 秋田県秋田市、群馬県伊勢崎市、埼玉県熊谷市、神奈川県小田原市、大阪府大阪市、 /15: 北海道・室蘭市・札幌市、 /17: ソ連軍が占守島(千島列島の最北東端の島)に上陸し、約 25,000 人の日本軍と戦闘。日本軍は武装解除されましたが、戦った将兵はシベリアへ抑留されたそうです。(総務省 hp 他資料より一部抜粋)

一方、厚生労働省の hp によると、海外戦没者(硫黄島、沖縄を含む)は約 240 万人、令和 7 年度末の時点で未収容の御遺骨約 112 万柱のうち、約 30 万柱が沈没した艦船の御遺骨、約 23 万柱が相手国・地域の事情により収容困難な状況にあるとのこと。これらを除く約 59 万柱の御遺骨を中心に、海外公文書館から得られた情報や戦友等からの情報を基に、具体的な埋葬場所の所在地を推定し、現地調査や遺骨収集を推進してきているとのこと。

正直、驚かされる内容です。改めてまだ帰還されていない戦没者にも黙祷を捧げます。

先日、長崎で被爆されたご遺族の方がおっしゃっていた言葉に

「原子爆弾を投下された悲惨な体験を 2 度と私達は経験させたくない。この「私達」には「長崎市民」だけでなく、「私達地球にいる全ての人達」のことを指しています。今後も全世界にいる「私達」が経験しないように訴えたい。」と話されていました。被爆者、長崎市民という枠を超え全世界の核兵器の被害を再び起こさせないという熱い熱意を感じました。

全世界の人々が原子爆弾の被害を体験することがないように、平和のつくり方を学び、社会に生かせることが描ける授業デザインを考えていきましょう。

[参考] 総務省 hp: 「国内各都市の戦災」 https://www.soumu.go.jp/main_sosiki/daijinkanbou/sensai/situation/state/index.html

厚生労働省 hp: 「戦没者遺族等への援護」 <https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/hokabunya/senbotsusha/index.html>